

平成30年度まちづくりネットモニター第5回調査結果 テーマ「郡山市の教育に関するアンケート調査について」

現在、郡山市教育委員会では、教育基本法に基づき「地域の実情に応じ、総合的、計画的に教育施策を推進するための計画」である「郡山市教育振興基本計画（第2期）」を策定し、平成27年度から「学校教育」「生涯学習」「文化」「スポーツ」の各分野において様々な施策を推進しておりますが、平成31年度で計画期間が終了となります。

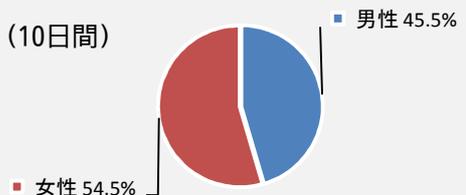
また、平成30年度から本市の目指すべき都市構想や、そのために必要な分野別の方向性を示す「郡山市まちづくり基本指針」がスタートしております。

こうした動きを踏まえ、本市教育委員会では、平成32年度からの5年間を計画期間とする「郡山市教育振興基本計画（第3期）」を策定するにあたり、多くの市民の皆さまのご意見及びご要望についてをお伺いするべく、アンケートを実施しましたので、その結果をお知らせします。

(教育総務部総務課)

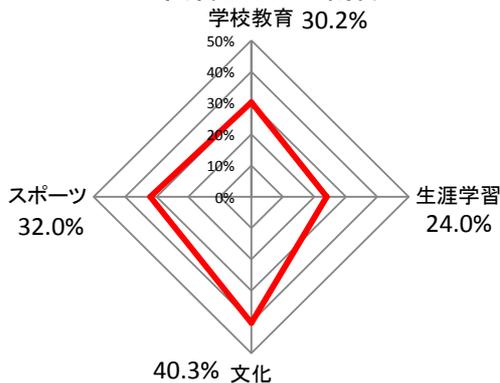
調査概要

○調査期間	平成30年8月1日(水)～8月10日(金)(10日間)
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を送信する。
○モニター数	340名 (男性 148名 女性 192名)
○回答者数	288名 (男性 131名 女性 157名)
○回答率	84.7%



結果概要

「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合



期待する施策

<学校教育>

約半数の市民が、「豊かな心の育成」「確かな学力の育成」に期待している。

<生涯学習>

「子どもの良好な成育環境の確保」を最も期待している。

<文化>

「郡山の歴史を身近に感じられる環境の醸成」を最も期待している。

<スポーツ>

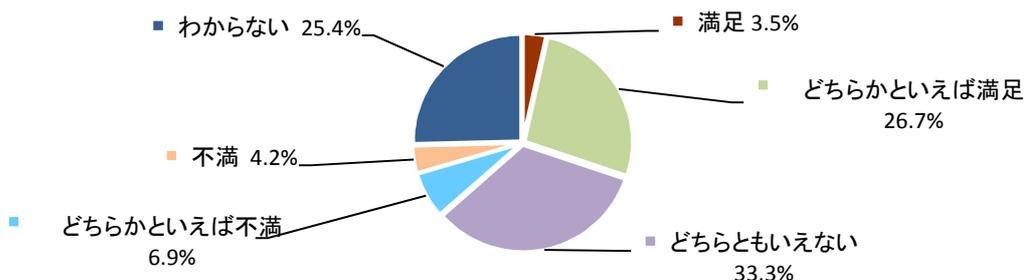
7割を超える市民が、「健康とスポーツのための施設整備」を期待している。

主なPoint

- 分野別において、「満足」「どちらかといえば満足」を選択した割合が高かったのは「文化」「スポーツ」である。
- 全分野共通事項として、満足度に係る質問において「わからない」の割合が高く、さらなる情報公開及びPRが必要であることがわかった。

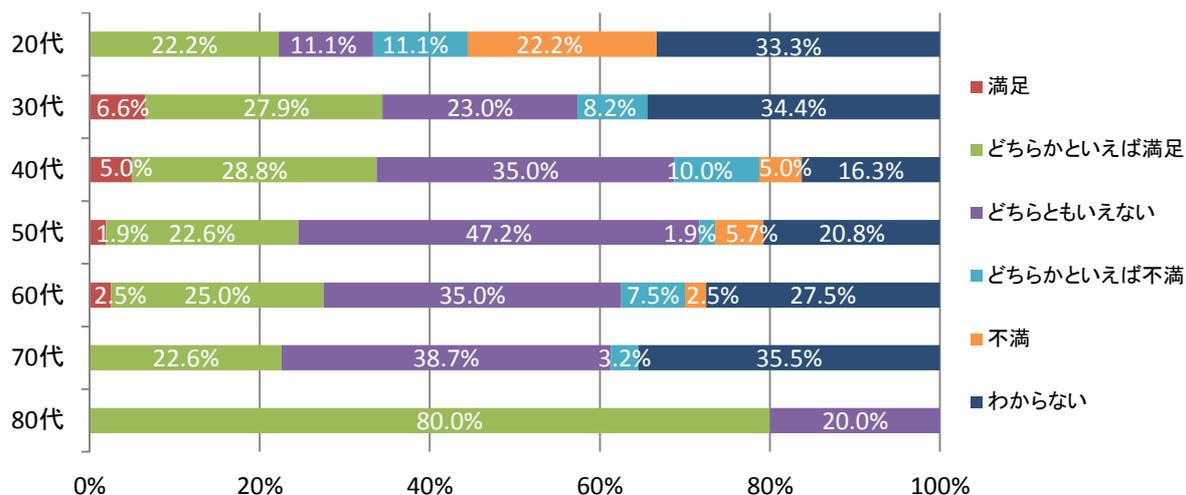
問1 郡山市の学校教育に対する取組み全体について、満足していますか。(1つ選択)

選択肢	選択者数
①満足	10
②どちらかといえば満足	77
③どちらともいえない	96
④どちらかといえば不満	20
⑤不満	12
⑥わからない	73
合計	288



<年代別>

年代	総数	満足	どちらかとい えば満足	どちらとも いえない	どちらかとい えば不満	不満	わからない
10代	0	0	0	0	0	0	0
20代	18	0	4	2	2	4	6
30代	61	4	17	14	5	0	21
40代	80	4	23	28	8	4	13
50代	53	1	12	25	1	3	11
60代	40	1	10	14	3	1	11
70代	31	0	7	12	1	0	11
80代	5	0	4	1	0	0	0



【Point】

- 「満足」「どちらかといえば満足」の割合が30.2%と、「不満」「どちらかといえば不満」の割合の11.1%を大きく上回った。
- 「わからない」の割合が25.4%で4人に1人が「わからない」という数値を示した。
- 年代別では、20代の「不満」の割合が22.2%と、他の年代に比べて突出して高い。

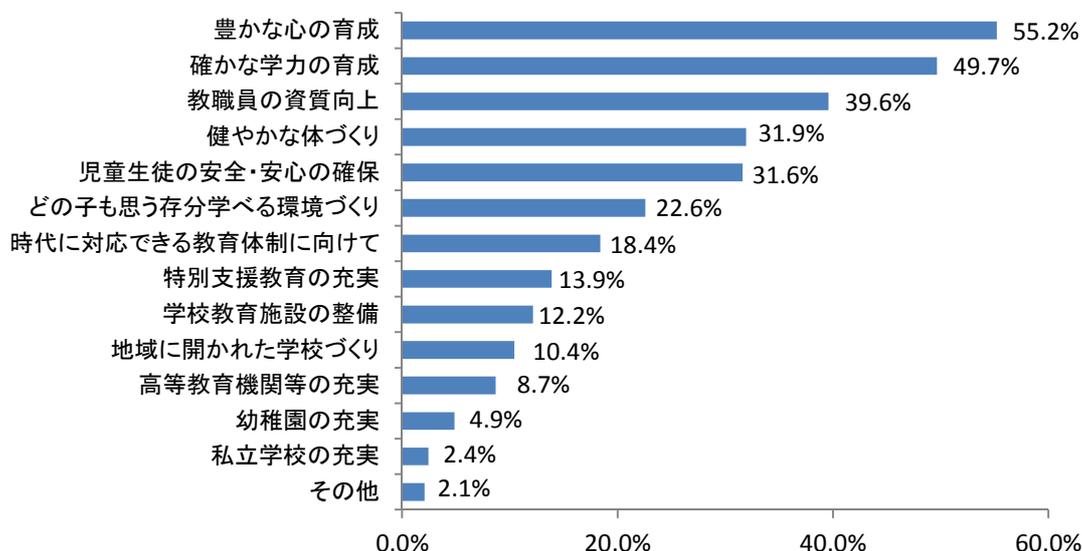
問2 学校教育について、特に重点的に取り組んでほしい施策は何ですか。(3つまで選択)

選択肢	選択数
①豊かな心の育成	159
②確かな学力の育成	143
③教職員の資質向上	114
④健やかな体づくり	92
⑤児童生徒の安全・安心の確保	91
⑥どの子どもも思う存分学べる環境づくり	65
⑦時代に対応できる教育体制に向けて	53
⑧特別支援教育の充実	40
⑨学校教育施設の整備	35
⑩地域に開かれた学校づくり	30
⑪高等教育機関等の充実	25
⑫幼稚園の充実	14
⑬私立学校の充実	7
⑭その他	6

合計 874

※「その他」の意見

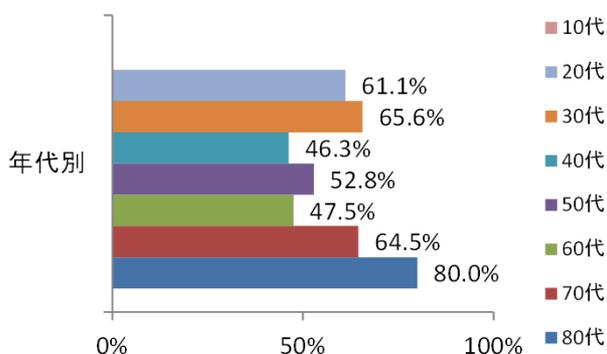
- 明らかに発達障害などを持つ子の親をきちんと説得して特別支援に通わせて、生きるための教育を受けさせてほしい。(富久山：40代女性)
- 不登校・ホームスクーラーなど多様な学び方への理解と連携。(旧市内：50代女性)
- 税金の仕組みや香典についてなどの一般常識の教育が必要。(富久山：20代男性)



◆「豊かな心の育成」を選択した人の内訳

<年代別>

年代	総回答数	「豊かな心の育成」 選択数
10代	0	0
20代	18	11
30代	61	40
40代	80	37
50代	53	28
60代	40	19
70代	31	20
80代	5	4

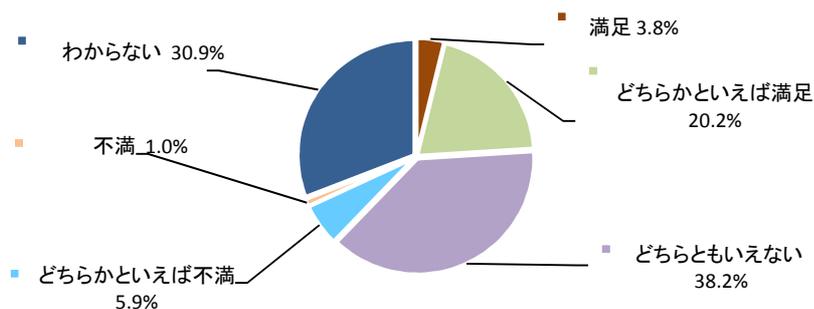


【Point】

- 回答者の約半数が、「豊かな心の育成」「確かな学力の育成」を重点的に取り組んでほしいと期待している。
- 「豊かな心の育成」を選択する市民を年代別で比較すると、40～60代の割合が他の年代と比べて低い。

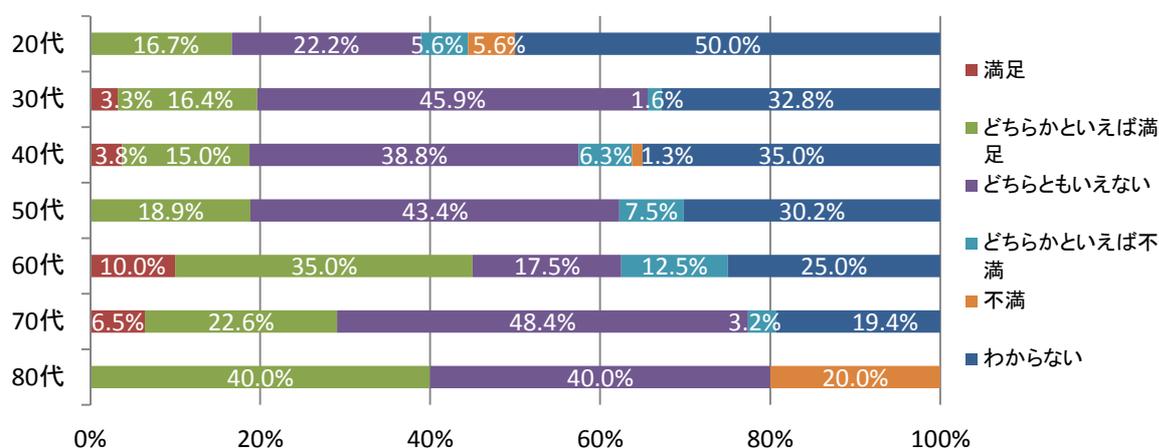
問3 郡山市の生涯学習に対する取組み全体について、満足していますか。(1つ選択)

選択肢	選択者数
①満足	11
②どちらかといえば満足	58
③どちらともいえない	110
④どちらかといえば不満	17
⑤不満	3
⑥わからない	89
合計	288



<年代別>

年代	総数	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
10代	0	0	0	0	0	0	0
20代	18	0	3	4	1	1	9
30代	61	2	10	28	1	0	20
40代	80	3	12	31	5	1	28
50代	53	0	10	23	4	0	16
60代	40	4	14	7	5	0	10
70代	31	2	7	15	1	0	6
80代	5	0	2	2	0	1	0



【Point】

- 「満足」「どちらかといえば満足」の割合が24.0%と、「不満」「どちらかといえば不満」の割合の6.9%を大きく上回った。また、「不満」を選択した割合が1.0%と低い。
- 「わからない」の割合が30.9%と、4分野中最も高い。
- 年代別では、「わからない」の選択割合が、若年であるほど大きい傾向が見られる。

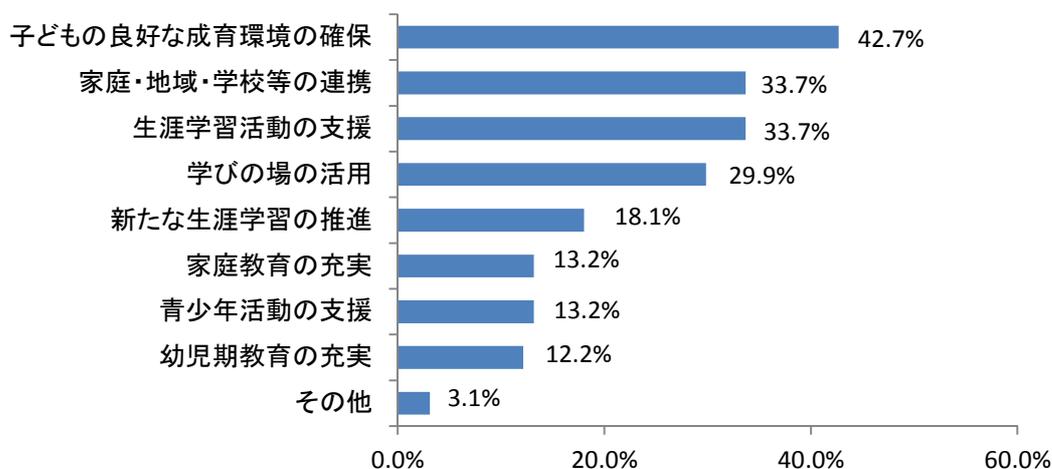
問4 生涯学習について、特に重点的に取り組んでほしい施策は何ですか。(2つまで選択)

選択肢	選択数
①子どもの良好な成育環境の確保	123
②家庭・地域・学校等の連携	97
③生涯学習活動の支援	97
④学びの場の活用	86
⑤新たな生涯学習の推進	52
⑥家庭教育の充実	38
⑦青少年活動の支援	38
⑧幼児期教育の充実	35
⑨その他	9

合計 575

※「その他」の意見

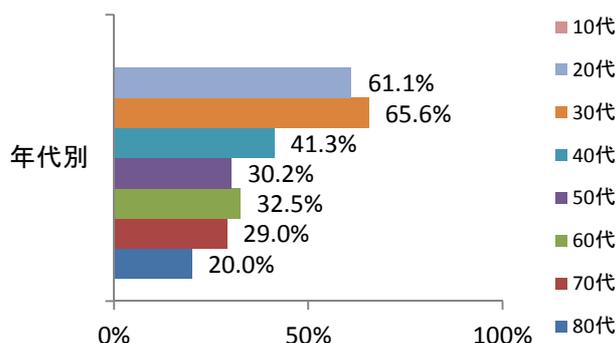
- 挨拶、礼儀の徹底。
(安積：30代男性)
- 市民主体の地域共生社会に向けた、地域福祉分野の充実。
(旧市内：50代女性)



◆「子どもの良好な成育環境の確保」を選択した市民の内訳

<年代別>

年代	総回答数	「子どもの良好な成育環境の確保」選択者数
10代	0	0
20代	18	11
30代	61	40
40代	80	33
50代	53	16
60代	40	13
70代	31	9
80代	5	1

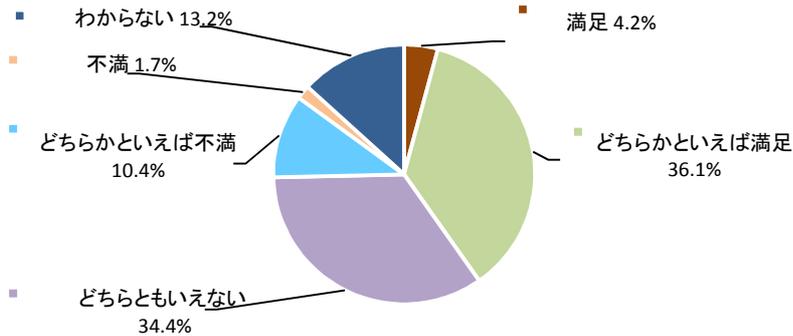


【Point】

- 「子どもの良好な成育環境の確保」が42.7%と突出して割合が高い。また、「家庭・地域・学校等の連携」「生涯学習活動の支援」「学びの場の活用」についても回答者の3割以上が選択する高い割合であった。
- 「子どもの良好な成育環境の確保」を選択する市民を年代別で比較すると、20代及び30代の割合が高い。また、30代から高齢になっていくにしたがって、徐々に割合が逡減していく傾向が見られる。

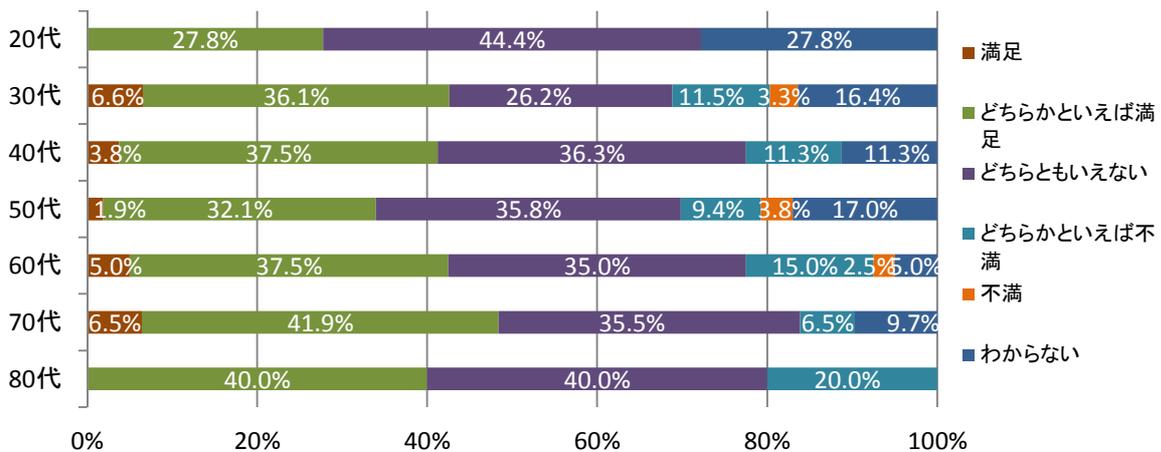
問5 郡山市の文化に対する取組み全体について、満足していますか。(1つ選択)

選択肢	選択者数
①満足	12
②どちらかといえば満足	104
③どちらともいえない	99
④どちらかといえば不満	30
⑤不満	5
⑥わからない	38
合計	288



<年代別>

年代	総数	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
10代	0	0	0	0	0	0	0
20代	18	0	5	8	0	0	5
30代	61	4	22	16	7	2	10
40代	80	3	30	29	9	0	9
50代	53	1	17	19	5	2	9
60代	40	2	15	14	6	1	2
70代	31	2	13	11	2	0	3
80代	5	0	2	2	1	0	0



【Point】

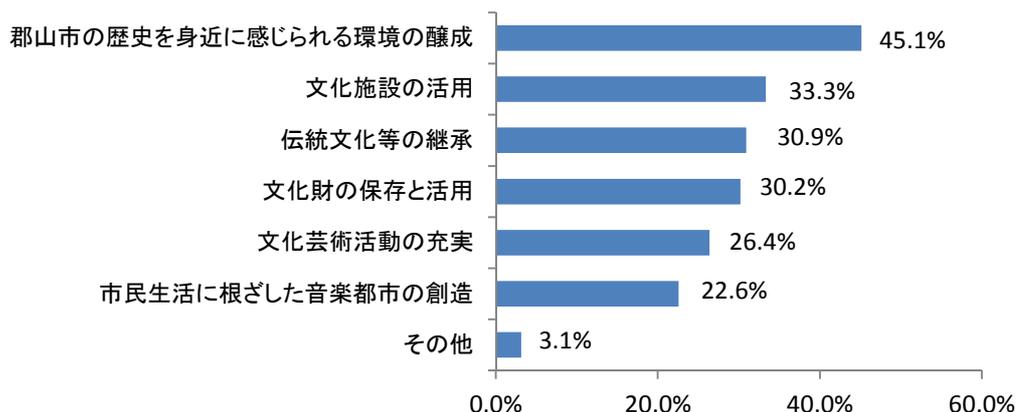
- 「満足」「どちらかといえば満足」の割合が40.3%と、「不満」「どちらかといえば不満」の割合の12.1%を大きく上回った。
- 「わからない」の割合が13.2%と、4分野中では最も低い。
- 年代別では、20代の「わからない」の割合が27.8%と、突出して高い。

問6 文化について、特に重点的に取り組んでほしい施策は何ですか。(2つまで選択)

選択肢	選択数
①郡山市の歴史を身近に感じられる環境の醸成	130
②文化施設の活用	96
③伝統文化等の継承	89
④文化財の保存と活用	87
⑤文化芸術活動の充実	76
⑥市民生活に根ざした音楽都市の創造	65
⑦その他	9
合計	552

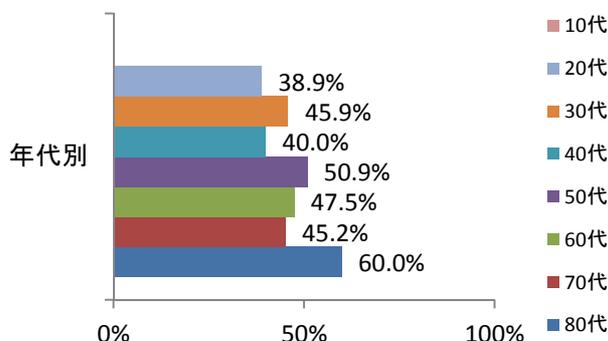
※「その他」の意見

- 楽都郡山にふさわしい音楽ホールを整備が急務。
(安積：60代男性)
- 文化財の魅せ方、PRの仕方を工夫して魅力を高めること。
(富久山：30代男性)



◆「郡山市の歴史を身近に感じられる環境の醸成」を選択した市民の内訳 <年代別>

年代	総回答数	「郡山市の歴史を身近に感じられる環境の醸成」選択者数
10代	0	0
20代	18	7
30代	61	28
40代	80	32
50代	53	27
60代	40	19
70代	31	14
80代	5	3

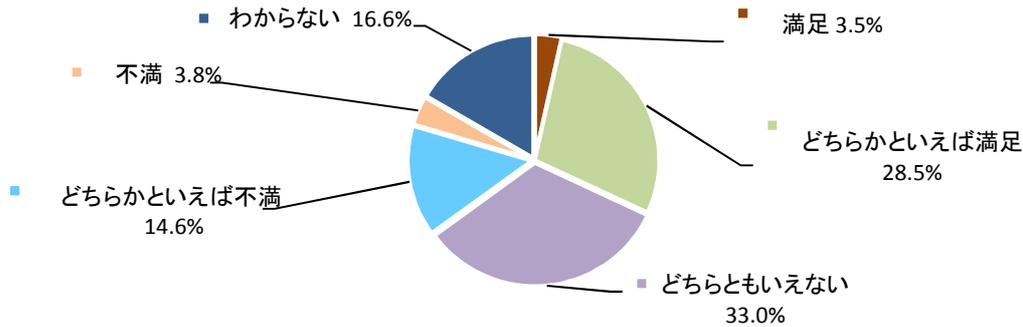


【Point】

- 「郡山市の歴史を身近に感じられる環境の醸成」が45.1%と割合が高い。その他の施策においては「文化施設の活用」33.3%が2番目に割合が高いものの、1番目の施策と比較すると約12%も低い。
- 「郡山市の歴史を身近に感じられる環境の醸成」を選択する市民を年代別で比較すると、80代だけ突出して期待度が高く見えるが、総回答数が少ないことを勘案すれば、他の年代より極端に高い割合とは言えない。概ね年代ごとの差異はなく、どの年代も半数近くが「郡山市の歴史を身近に感じられる環境の醸成」を選択している。

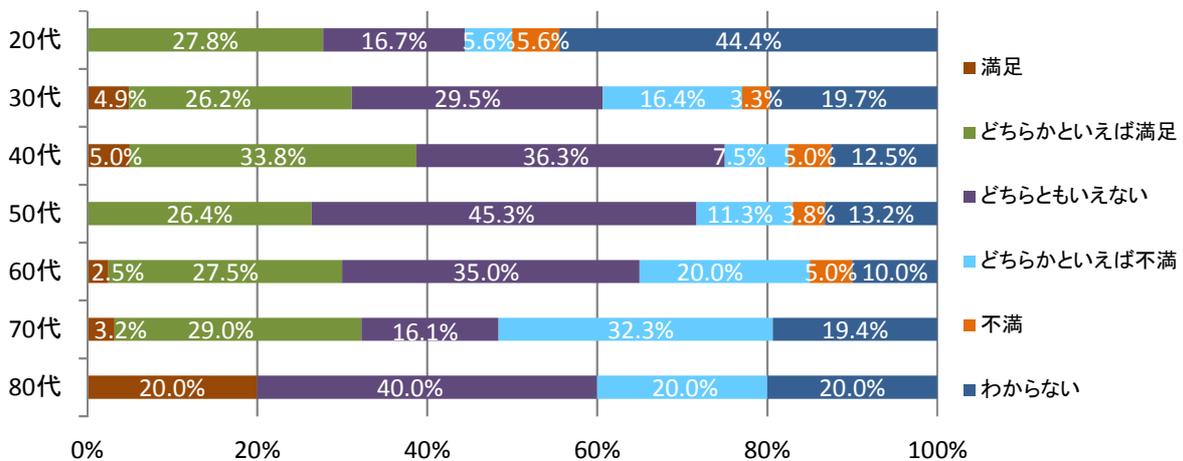
問7 現在の郡山市のスポーツに対する取組み全体について、満足していますか。(1つ選択)

選択肢	選択者数
①満足	10
②どちらかといえば満足	82
③どちらともいえない	95
④どちらかといえば不満	42
⑤不満	11
⑥わからない	48
合計	288



<年代別>

年代	総数	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
10代	0	0	0	0	0	0	0
20代	18	0	5	3	1	1	8
30代	61	3	16	18	10	2	12
40代	80	4	27	29	6	4	10
50代	53	0	14	24	6	2	7
60代	40	1	11	14	8	2	4
70代	31	1	9	5	10	0	6
80代	5	1	0	2	1	0	1



【Point】

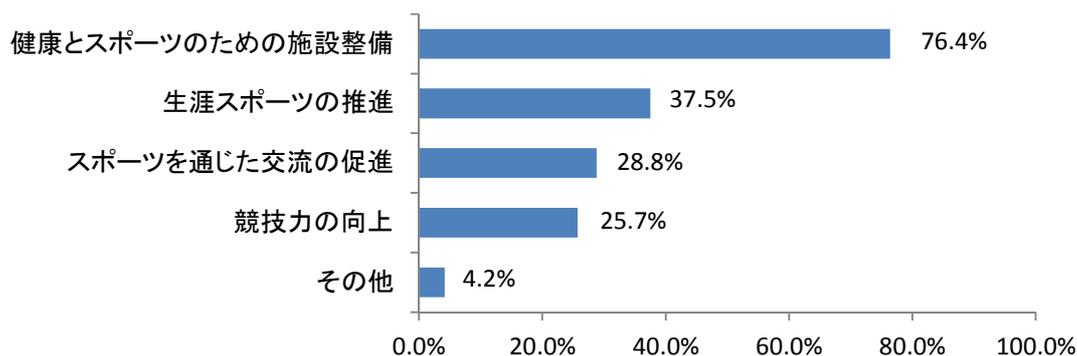
- 「満足」「どちらかといえば満足」の割合が32.0%と、「不満」「どちらかといえば不満」の割合の18.4%を上回ったが、他の3分野に比べると、満足と感じている方と不満に感じている方の差異が最も小さい。併せて、「不満」の選択割合が全分野で最も高い。
- 「わからない」の割合が16.6%と、4分野中2番目に低い数値であった。
- 年代別では、20代の「わからない」を選択した割合が44.4%と、突出して高い。

問8 スポーツについて、特に重点的に取り組んでほしい施策は何ですか。(2つまで選択)

選択肢	選択数
③健康とスポーツのための施設整備	220
①生涯スポーツの推進	108
④スポーツを通じた交流の促進	83
②競技力の向上	74
⑤その他	12
合計	497

※「その他」の意見

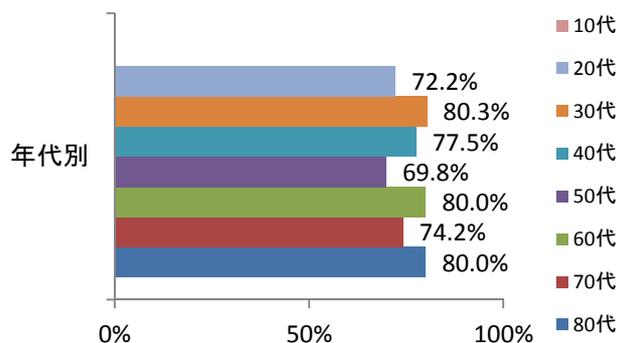
- どこに運動が出来る場所があるか知りたい。
(旧市内：30代男性)
- 高価な施設はあるようですが使用してる方は一部だと思う。
(安積：70代男性)



◆「健康とスポーツのための施設整備」を選択した市民の内訳

<年代別>

年代	総回答数	「健康とスポーツのための施設整備」選択者数
10代	0	0
20代	18	13
30代	61	49
40代	80	62
50代	53	37
60代	40	32
70代	31	23
80代	5	4



【Point】

- 「健康とスポーツのための施設整備」が76.4%と全ての施策の中でも突出して割合が高い。2番目に割合の高い施策と比較して約39%もの差異がある。
- 年代別でも、「健康とスポーツのための施設整備」を選択した割合は、回答がなかった10代を除き、全年代で70%以上、かつ、3つの年代で80%を超える程の高い割合である。

問9 「郡山市の教育全般について」ご意見がございましたらご記入願います。(自由記述)

※主な意見のみ掲載

<学校教育>

- 未だに大きな名札をつけて登下校させていたり、生徒個人への柔軟な対応よりも手続きが優先であったり、やり方や考え方が古くて信用できないと感じています。また、全国的に学力も体力も低く、教職員への教育をもっと進めて欲しいと正直感じています。(逢瀬：20代女性)
- 教育者も人なので善人でいなさいというのも無理があるが、教える人が道徳を持っていないと間違えた方向に導く傾向にある。子どもに聞いたが、子どもの中で学校は絶対という認識であるのも間違いである。(安積：30代女性)
- 部活の休みを作ったのは大賛成です。昔の根性論からの転換を是非成功させてほしい。(安積：60代男性)
- 障がい者の立場から。特別支援学校も大切です。でも、「ともに生きる」ことも大事だと思います。話がズレますが、息子が小学校の時、参観日等で親が学校へ行った時、障がい者の私は階段に困りました。介助してもらったこともあり、心のバリアフリーに助けられこともありました。建物のバリアフリーにも力を入れてもらいたいです。(旧市内：60代女性)

<生涯学習>

- 生涯教育に力をいれているのがわかります。もっと広報紙などを中心にアナウンスしてほしいです。(旧市内：50代男性)
- これからの厳しい超高齢社会に向けて、住民が自ら主体的に学び、地域の一員として積極的に役割を担う力を身につけることがとても重要になると感じる。そのための啓蒙や、学ぶ意欲を高めるような取組み(修了・認定証発行やポイント制度など)が充実すると良いかもしれない。(旧市内：50代女性)
- 高齢者、特に70歳以上に生き方の再教育の必要性を強調したい。(富田：80代男性)

<文化>

- 各文化施設・体育施設も充実していると思う。ただ利用方法を知らない人もまだまだ多いと思います。(旧市内：30代女性)
- 中学、高校と全国レベルでがんばっているのに、楽都郡山とうたっているわりには、施設が伴っていないと思います。(安積：60代男性)
- 郡山は地味ですが、文化財や歴史的な重要性の高い建築物もあるので、紹介して行ってほしいです。住民である私も未知が多いので。(旧市内：30代女性)
- 文化センターより大きい規模の音楽ホールを作って欲しい。駐車場問題も解消して欲しい。(旧市内：50代女性)

<スポーツ>

- スポーツ団体が増えていて、利用はし易くなっていると感じる。でも、その団体で借りれる施設は体育館もスポーツ広場も競争になっていて、非常に不便さを感じる。(安積：30代女性)
- 健康増進のためにジムに通う人が増えています。地域単位で、その様な施設が出来たら嬉しいです。(富田：60代女性)
- スポーツについて、市民体育館のジムをリニューアルする必要があると思う。郡山市よりも規模の小さい市でも、トレーニング施設を充実させ、住民の健康促進に力を入れているところがある。住民が気軽にスポーツをしようと思えるような充実した環境設備を整えて頂きたい。(旧市内：20代女性)

<その他>

- 「郡山市の人」と一括りにするわけではないが、地域性なのかドライな人が多い。思いやりや心を育てるような温かみのある教育がなされてほしい。(旧市内：30代女性)
- 収入の格差なく学べる機会や場所の提供。福島はAOZ、いわきはラトブで高校生が自由に勉強するスペースがあるが郡山は中央公民館まで行かないと無い。(旧市内：40代女性)
- 札幌出身だから特に感じるのかもしれませんが、札幌は学業を市内で完結した上市内に就職しやすい大都会でしたが、人数に限りがある郡山で最終学歴まで完了できる人はジャンルや人数に限りがあるので、一度出た青少年が自然に地元へ戻る様な教育ができればベストでしょうね。(熱海：40代女性)
- 幼児期から高校まできめ細かな施設や取り組みがあると思います。情報量、発信方法も優れています。惜しむらくは大学。これだけの都市規模で公立の大学がないのは残念です。娘も県外の国立大学に進学せざるを得ませんでした。(旧市内：40代女性)